

ひおき

2012. 2

vol.82

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

特集：日置市消防出初式	2
消防ひおき	4
行政インフォメーション	6
まちの話題	12
うたごよみ	16
市民の広場	19



平成二十四年

日置市消防出初式



パレード行進
出初式典の前に約
400メートルにわたり、街頭パレードを行いました。約300人の消防団員、職員が整列し行進してくる様子は圧巻。消防本部、各方面団の消防車も後に続ききました。一糸乱れぬ行進に地域住民も拍手で迎えました。

平成二十四年日置市消防出初式が、一月八日、伊作小学校（吹上）と吹上中央公民館で行われました。
市内各地域の消防団員と消防職員約三百人が集まり、地域の住民に見守られながらの式になりました。

初の試みである街頭パレードで式典会場に入場し、開式宣言が行われました。

式では、分列行進に規律訓練、救助訓練に放水演習とさまざまな訓練を実施。放水演習では、伊作川沿いで吹上方面団による一斉放水が行われ、空高く舞い上がる放水に、見物に来ていた地元住民からは歓声が聞こえました。

放水演習が終わると、会場を吹上中央公民館に移し、消防団員と消防職員の表彰が行われました。今年は、長年地域の防災に貢献してきた九十四人が表彰を受けました（表彰者については次頁参照）。

式典の最後に田代幸次消防団長による答辞が行われ、消防団員と消防職員は気持ちを一つに、今年一年の活動をスタートしました。

自分の住んでいる地域を守りたい。自分は防災で地域貢献。

☆火災件数

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
合計		35	48	32	46	29	48
地域	東市来	9	11	7	8	6	6
	伊集院	10	15	11	15	8	13
	日吉	8	12	10	9	5	10
	吹上	8	10	4	14	10	19

- ①建物に残された人の救助訓練
- ②各分団による分列行進
- ③消防職員による規律訓練



出初式表彰



長年にわたり地域の防災のために貢献してきた消防団員、職員に対して表彰が行われました。50年間消防団として活躍されている東市来方面団北山光宏団員の県知事表彰をはじめ、多くの団員が表彰を受けました(敬称略)。



◇消防庁長官 永年勤続功労章
消防本部 鉦之原 孝志

◇日本消防協会 勤続章(30年)
日吉方面団 二石 純一 諸正 博幸 野元 寛
吹上方面団 山口 政幸
消防本部 福永 義人

◇県消防協会 功績章
東市来方面団 宇田 昇二
伊集院方面団 鶴田 耕人 松下 幹夫 松元 薫
日吉方面団 今中 誠 坂中 正幸 野元 政博
岩井田 睦男
吹上方面団 下窪 幸治 坂上 晃一 秋葉 幸広
田中 昌一

◇県消防協会 精績章
東市来方面団 室之園 博樹 恒吉 晴美 東郷 芳弘
東 浩史 平松 博幸
伊集院方面団 西之園 健一 重留 勝
日吉方面団 上原 伸一 宮脇 誠 原口 正悟
廣中 輝樹
吹上方面団 高田 利文 池田 日道 福田 誠
消防本部 丸山 明孝 比良 和隆 平地 慎治
西原 悟史 重水 康平

◇県知事表彰 50年
東市来方面団 北山 光宏 徳永 匡是

◇県知事表彰 40年
伊集院方面団 古藺 俊一郎

◇県知事表彰および市長表彰 10年
東市来方面団 水澤 堅一 木場 等 坂下 広行
小園 秀一 西田 敬 中野 勇三
伊集院方面団 川路 優治 加世田 弘康 永江 浩
有村 荘一 肥後 盛嗣 中園 康弘
松下 辰美
日吉方面団 樋元 修一 上内 広信 松村 健一
田中 和広 上田平 住義
吹上方面団 鹿倉 和馬 山下 浩司 下園 忠征

◇県消防協会日置支部 15年表彰
東市来方面団 迫田 弘利 室之園 道治
伊集院方面団 貴島 明英 新山 一弘 宮原 良和
東 英夫
日吉方面団 原口 東 上口 浩行 大西 勝成
元山 敏志 阿多 崇宏
吹上方面団 濱村 義美 東 正秋 小山田 剛
柳原 文男 榊 満博 下園 生晃

◇感謝状贈呈 30年勤続内助の功
日吉方面団 二石 孝子 諸正 みちほ
吹上方面団 山口 さよ子

◇感謝状贈呈 25年以上勤続退団者賞状
日置市消防団 元吉 靖郎
東市来方面団 徳永 匡是 永山 一行 荻 巧美
日高 耕一
伊集院方面団 小園 和則 馬場 利和 福元 勝法
日吉方面団 正留 武久 田麦 雅之 辻 成人
吹上方面団 本山 孝行 内迫 勝秀

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

消 防
ひ お き



春の全国火災予防運動

3月1日（木）から3月7日（水）まで、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。この運動は、火災が発生しやすい時期を迎え、火災予防の知識を高めることで火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の発生を減少させることを目的としています。

防火訓練のお知らせ

3月5日（月）8時20分からグラード伊集院で防火訓練を実施します。
サイレン吹鳴等で付近の方々にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

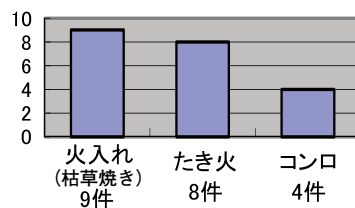
2011年 日置市消防統計

火災 48 件

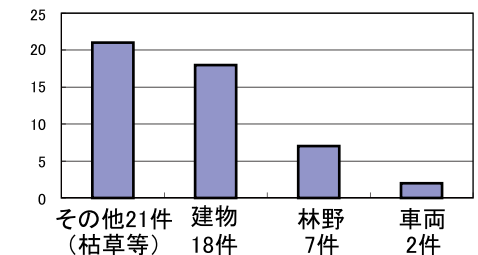


前年比で19件増加しました。火災による焼死者はありませんでしたが、火の取り扱いには十分注意しましょう。

(件数) 出火原因 (ワースト3)



(件数) 火災種別

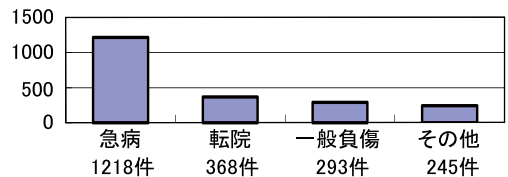


救急 2,124 件



前年比で126件の増加になりました。重症患者への対応が遅れないためにも、救急車の適正利用をお願いします。

(件数) 事故種別



救助 21 件



前年比で5件の増加になりました。交通死亡事故が多発しています。交通ルールを守って安全運転を心がけましょう。

PA 連携 (緊急支援) 92 件



救急隊だけの現場活動が困難と予想される場合は、消防車が同時に出動することがあります。



昨年は、心肺停止状態の出動がもっとも多く、高速道路での事故や、ドクターヘリの支援にも出動しました。

過去3年間の災害発生件数の推移

種別	年	平成20年	平成21年	平成22年
火災		32件	46件	29件
救急		1,860件	1,821件	1,998件
救助		25件	25件	16件

住宅用火災警報器設置率 (平成23年12月末現在)



住宅用火災警報器を設置しましょう。

地域別設置率

伊集院	61%	日吉	82%
東市来	72%	吹上	82%

住宅用火災警報器のおかげで、火災を未然に防いだ奏功事例が多数報告されています。すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、まだ設置していない方は早めの設置をお願いします。

お近くのホームセンターや電気店、消防設備業者などから購入できます。

設置に関してわからないことがありましたら、日置市消防本部までお問い合わせください。

問い合わせ先

消防本部・消防署	TEL 272-0119
北分遣所	TEL 274-0119
南分遣所	TEL 299-3019

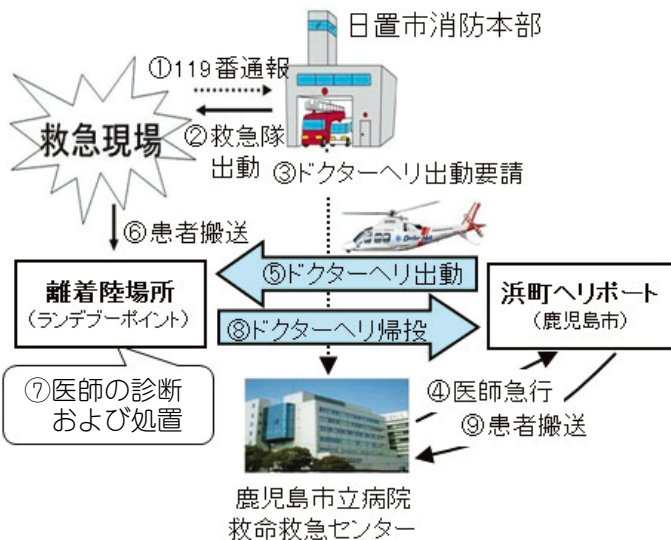
ドクターヘリ始動!



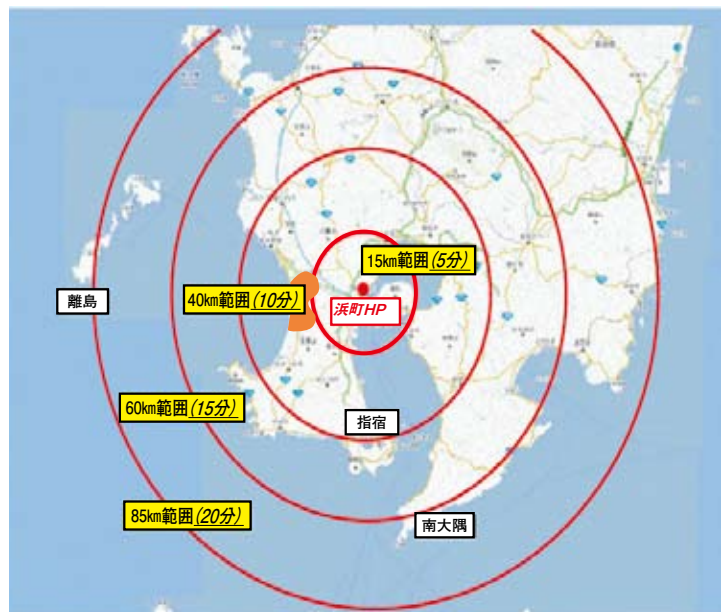
空飛ぶ救命室とも言われる「ドクターヘリ」が、昨年12月から鹿児島県でも運航開始されました。

ドクターヘリの運航により、現場ですばやく「治療」にとりかかることができるため、重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減が期待できます。

ドクターヘリの要請から搬送までの流れ



浜町ヘリポート (鹿児島市) から県内各地までの所要時間



詳しくは鹿児島県 HP まで
<http://www.pref.kagoshima.jp/>



主任ケアマネジャー



社会福祉士



保健師

専門分野を生かして協力！
「チーム」でみなさんを支えます

②権利を守ります！

成年後見制度の紹介や虐待
への対応、消費者問題など
に対応します。

①総合相談窓口

「どこに相談すればいいか、
わからない」という時も、
まずはご連絡ください。介
護、医療、健康づくり、財
産管理、虐待などどんなこ
とでも大丈夫です。

地域包括支援センター
地域支援事業

④地域の連携・協力体制を
支えます！

地域のケアマネジャーや事
業所の相談・支援やさまざ
まなネットワークづくりな
ども取り組んでいます。

③自立して生活できるよう
支援します！

- ・要支援1・2と認定
された方への支援
- ・介護予防事業の実施

○権利を守ること
高齢者を狙った悪質な訪問販売や
消費者金融、住宅リフォームなど高
齢者の弱みにつけこんで財産を奪つ
てしまう事件、虐待にあっているの
ではないか、介護疲れにより虐待を

○さまざまな相談ごと
介護に関する相談ごとや心配ご
と、悩み以外に、健康や福祉、医療
に関する事など、また、高齢者だ
けでなく、その家族、近隣に暮らす
人の高齢者に関する相談ごとを受
けています。
相談を受けた後は、適切な機関に
つないだり連携を取りながら支援を
しています。

高齢者の安心生活を
守るために



高齢者の安心生活
をサポートする

日	置	市			
地	域	包	括		
支	援	セ	ン	タ	ー

いつまでも自分らしく
住み慣れた地域で暮らすために

地域包括支援センターは、65歳以上の高齢者の方々
を対象に、介護予防事業の実施や介護・健康・医療
等の生活全般に関するさまざまな相談ごとを受けて、
専門分野の職種が連携を取りながら、チームで総合
的に支援していくところです。
これらは、「地域支援事業」の名称で事業展開して
いますが、**介護保険料は、この財源の一部としても
使われています。**

○任意事業の実施
地域の実情に応じた支援を実施し
ます。介護相談員派遣事業、家族介
護用品支給事業、認知症サポーター
養成事業など実施しています。

○関係機関との連携体制づくり
地域包括支援センターに配属され
ている専門職員は、介護の知識を
持った専門家として、ケアプランの
作成や介護サービス事業者、医療機
関などと連絡調整やネットワークづ
くりを進めています。
○介護や健康のこと
毎年、65歳以上の高齢者に「基本
チェックリスト」のアンケート調査
を実施します。その結果、生活機能
低下がみられた高齢者には「介護予
防教室」への参加を勧め、運動を中
心にした3カ月間の楽しい教室を実
施しています。
足腰が弱くなつて体の衰えを感じ
る前から、健康を維持するための介
護予防事業や地域での催しに積極的
に参加していくことが大切です。
また、要介護認定で「要支援1・2」
と判定された人に対しての支援も地
域包括支援センターで担当します。

○さまざまな相談ごと
介護に関する相談ごとや心配ご
と、悩み以外に、健康や福祉、医療
に関する事など、また、高齢者だ
けでなく、その家族、近隣に暮らす
人の高齢者に関する相談ごとを受
けています。
相談を受けた後は、適切な機関に
つないだり連携を取りながら支援を
しています。

○権利を守ること
高齢者を狙った悪質な訪問販売や
消費者金融、住宅リフォームなど高
齢者の弱みにつけこんで財産を奪つ
てしまう事件、虐待にあっているの
ではないか、介護疲れにより虐待を

介護予防事業



介護予防のためには、定期的に自分の状態を知ることが大切です。心身の状態や生活していく力（生活機能）が低下しているところを早めに知り、寝たきりや認知症になる前に介護予防に取り組みましょう。

本市では、毎年、25項目からなる健康チェック票（基本チェックリスト）を65歳以上の高齢者全員（介護認定者を除く）に配布し、生活機能が低下していると認められた方には、介護予防教室「いつまでも元気教室」を案内しています。

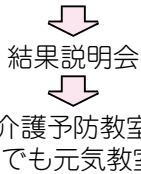
《平成23年度地域別「いつまでも元気教室」参加人数》

	伊集院	東市来	日吉	吹上
65歳以上 79歳以下	21	23	7	13
80歳以上	22	15	11	16

▲ 生活機能の低下が認められた方は多いものの、「畑仕事忙しい」「もう年だからいい」と断る高齢者が多く、参加者はまだまだ少ない状況です。体の衰えは自分自身では気づかない場合もあるため、早めの対策が必要です。ぜひ、ご参加ください。

◎教室までの流れ

健康チェック票の配布・回収



※生活機能の低下が認められた方には、結果説明会の案内が包括支援センターから届きます。まずは結果説明会に参加して、自分の状態を知ることが第一歩です！

介護予防教室風景



栄養指導



歯科指導



筋力をつける体操



3カ月ともに頑張った仲間
で集合写真



皆勤賞もらいました！



茶話会で仲間づくり

参加者の声

- ・ 転ばなくなってきた。
- ・ 足のしびれが少なくなり、散歩が楽になった。
- ・ 友達ができてとても楽しく、前向きになった。
- ・ □腔体操を習い、喉のつかえがなくなった。
- ・ 腰を曲げて歩いていたが、まっすぐ立てるようになった。
- ・ □の手入れ方法を詳しく教えてもらい、□臭がなくなった。
- ・ 栄養の面談でじっくりありのままを相談できた。
- ・ 片足立ちができなかったが、先生方の指導で幾分できるようになった。
- ・ 唾液が十分出るようになり、食事がおいしくなった。



ひとり抱え込まないで

介護は長期にわたることも多く、

家族だけで頑張っても限界があります。無理をせず、さまざまな制度やサービスを上手に利用して介護をしていきましょう。

困ったときや悩んだときは、地域包括支援センターにご相談ください。

元気なうちから介護予防

年齢とともに現れる心身の老化に對して、年だから仕方がないと思つて放つておいては、寝たきりや認知症につながりかねません。

元気なうちから心身の老化を防ぐ「介護予防」に取り組み、いつまでも自分らしく自立した生活を実現していきたいでしょう。

これらの結果が、私たちの介護給付にもつながります。



日置市地域包括支援センターの連絡先

日置市伊集院町郡一丁目100番地（日置市役所内）
電話 273-2111（代表）

高齢者の被害が増加！

日置市消費生活相談窓口に寄せられる消費生活相談の約4割は、65歳以上の高齢者です。高齢者の相談件数は増加傾向を続けており、契約購入金額も相談全体の平均に比べて非常に高額です。高齢者が消費者トラブルに巻き込まれるケースには、次のような特徴があります。

<特徴1> だまされたことに気づきにくい

「わたしはだまされたことがない」と言う方も話しをしていくと、高額な契約をさせられている場合があります。

悪徳業者はやさしい言葉で近寄り、高齢者の話し相手になってくれます。親しくなった販売員を慕って契約するケースもあります。疑うことを前提としない高齢者の中には、まさか自分がだまされているとは思わないことも多いようです。



<特徴2> 被害にあってもだれにも相談しない



被害にあったと自覚している方でも、だれにも相談しない場合が少なくありません。被害にあったことを恥ずかしく思い、家族に迷惑をかけたくない、だまされた自分が悪いと自らを責める方もいます。

また悪徳業者の中には、巧みなセールストークで不安をあおったり「だれにも話してはいけない」と口止めをしたりするケースもあります。

ご家族、住民の方へ

地域ぐるみで高齢者を守りましょう！

高齢者は悪質商法の被害にあっても、「だまされたことに気づかない」、「だまされたことを恥ずかしく感じ、誰にも相談しない」というケースが多くあります。そこで大切なのが、地域ぐるみの見守りです。日ごろからあいさつをかわし連絡をとりあえば、何か異変があったときもすぐに気づくことができます。

注意するポイント

- 最近お金に困っているようだ。
- 業者がよく家に入出入りしている。
- 訪問や電話におびえている。
- 家の中に見慣れない段ボール箱や商品がたくさんある。・・・など

このような様子が見られたら、本人に確認をとり、すみやかに市消費生活相談窓口などに相談してください。

あなたも気をつけて！「訪問販売」

突然訪問「太陽光パネルを設置しませんか」に注意！

今回は、相談の中から「訪問販売」の事例を紹介します。



《日置市に寄せられた相談事例》

原発事故による節電や省エネ志向に便乗し「光熱費が安くなった分で支払いが可能」、「国から補助金が出る」など、よい話ばかり長時間、聞かされた。

その上、「今日でないとだめだ」と言われ、急がされ、太陽光パネル設置の契約をしてしまった。

よく考えると高額で、長期間支払うことができるかどうか不安になった。

相談員からのワンポイントアドバイス

「太陽光パネルを設置しませんか」と信用のある業者の職員を装って、上記で紹介したように言葉巧みに契約をさせ、高額な請求をする訪問販売の被害が増えています。

- 1 突然訪問してきて、その場で契約を迫るような業者には要注意
- 2 必要ないと思ったら、「お断りします」などと、はっきりと断る
- 3 契約する際は、ほかの業者からの見積りをとるなど、検討が必要
- 4 契約した場合でも、おかしいと思ったら一人で悩まず相談を！



「少しでも不審に感じたら、すぐに応じずに、最寄りの警察か市消費生活相談窓口などに相談しましょう。」

日置市消費生活相談ホットライン TEL 273-2172

本庁商工観光課 TEL273-2111 東市来支所地域振興課 TEL274-2111

日吉支所地域振興課 TEL292-2111 吹上支所地域振興課 TEL296-2111

※ 市消費生活相談窓口では、土・日・祝日を除き、消費生活相談員が対応します。



温もりあふれる 共生・協働の地域づくり30

地区公民館の取り組みから

伝統・風習・産業・安全を つなぎ、引き継ぐために

地区公民館は、小学校区または以前小学校区だった範囲に組織されています。

それぞれの地区内には、受け継がれてきた伝統や風習があり、それらは、自治会や学校、時には家でつながられています。しかし、中には途絶えたものもあります。

貴重な文化を後世に引き継ぎ、地域づくりに生かす受け皿のひとつが地区公民館。そこから、途絶えた行事を復活させようという機運も生まれています。さらには、新たな文化を育もうという取り組みもあります。

今回は、地区単位の多様な事例をご紹介します。



地区民が集う新年拝賀式(1/1 野首地区)



鬼火のおき火で餅焼きを楽しむ(1/7 美山地区)



地元の野菜を笑顔で値付け(12/11 住吉地区)



地域安全の結束を高める出初式(1/29 妙円寺地区)

新年祝賀式

元旦。市内には地区民が会して、新年祝賀式を行う地区が13カ所あります。

登山で初日を拝んだり、児童や生徒が新年の抱負を述べたり。その形態はさまざまです。

式後の新年会では「明けましておめでとう」と「今年も元気で地区を盛り上げましょう」が交錯します。

鬼火焚き

炎にはじける竹の音で災厄をはらい、一年の無病息災を祈る鹿兒島の伝統行事「鬼火焚き」。子ども会が中心となって、集落ごとに行われてきましたが、途絶えがちになっています。

自治会単位では行えなくなっ

た鬼火焚きが、範囲を広げて取り組むことでつながった地区もあります。

また、坊野地区では鬼火焚きに合わせて、健康づくり活動や花火事業を行い、異年齢層の交流で、地区の活気づくりに取り組みました。

炎に照らされる今と昔の子どもの笑顔が、行事をつなぎます。

地産地消

地域の農産物などを持ちよる、販売する「産業祭」も数地区公民館で行われるようになりました。

身近な生産者が表示された産物を、地区民が評価しながら買い求めるという、文字通り、地産地消の活動が行われています。同時に、正直な評価は、地

元生産者の意欲向上にもつながっています。

住吉地区産業祭では、自慢の野菜や工芸品を、地区民がセリで値付けしました。

地域安全

和田地区では、地域づくりの実践と並行して、地区民の意識を高めようと、地区文化祭で講演会を開催。鹿兒島大学の菱山准教授が「自治や協働の活動は、

参加を確保し、歩み寄ることのできる「地域安全」の確保は、散歩や井戸端会議など、何気ない日常生活の中にある」と示唆を与えました。

妙円寺地区では一月、妙円寺団地守り隊が出初式。「青パト5台で日々、パトロールを続けている。明るく住みよい地区を皆さんの協力で」と、常深隊長は呼び掛けました。

式に先駆けて約300人の地区民が参加して、防火訓練も実施。同日、地区体育協会によるジョギング大会も開催され、その警備を守り隊が担当しました。

地区公民館には、地域の特性に応じた多彩な取り組みがあります。

日置警察署から交通事故防止のお願い

<平成 23 年中の交通事故発生状況>

●管内の交通事故発生状況

	件数	死者	傷者	物損事故
平成 23 年	270	3	353	950
前年対比	- 2	±0	+28	+26

●町別の人身・物損事故発生状況

	伊集院	東市来	日吉	吹上
人身事故	144 (1)	64	19	43 (2)
物損事故	521	235	70	132

() は死亡事故

交通事故の特徴

- 1 種類別～追突、自損事故が多い
- 2 原因別～前方不注視、安全不確認が多い
- 3 年齢別～高齢者の交通事故が多い
- 4 道路形状別～交差点事故が多い
- 5 その他～飲酒事故が多い

子どもと高齢者の交通事故防止

現代を築いてきたお年寄りや次代を担う子どもたちを交通事故から守りましょう！

- ★ 「交通事故に遭ったらたいへん、交通事故はいやだ!」、「車に気をつけよう!」という『交通安全の心』をしっかりと育てましょう。
- ★ 夜間の外出時は、ドライバーから見えやすい明るい服装と反射材を着用し、自分の存在をアピールしましょう。
- ★ 通り慣れた道路の横断でも、渡る前の「止まる」「見る」「待つ」のゆとりを持ちましょう。



すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を

シートベルトとチャイルドシートは大切な命を守る有効なものです。

★乗せる責任

同乗者のベルト着用をしっかりと確認しましょう。

★乗せられる責任

後部座席でも確実に着用しましょう。

★抱っこでは支えきれません!

大切な子どもを守るのはチャイルドシートだけです。

大人の責任、忘れないで!!



飲酒・暴走等無謀運転の根絶と過労運転の防止

- ★ 決して逃れることのできない法的・社会的代償があることを忘れないでください!!
飲酒運転根絶のために「飲酒運転をしない、させない、許さない」社会環境をつくりましょう。
- ★ スピードの出し過ぎや無理な追い越しなどは重大事故につながります。
自らの運転技術を過信することなく安全意識の高い、スマートな運転を実践しましょう。
- ★ 無理のないゆとりのある運転計画を立てましょう。
眠気を感じたら、安全な場所に車を止めて休憩しましょう。
「あと少し」の無理がすべてを無くします。



免許証の自主返納のメリット制度

日置市に在住し、運転免許保有の65歳以上の方で免許証を自主返納された方は、次のメリットを受けることができます。

★タクシー割引制度

- ・伊集院タクシー
- ・吉村タクシー
- ・ひまわり交通
- ・第一タクシー
- ・湯ノ浦タクシー
- ・内田タクシー

利用料金が
1割引

★温泉施設割引制度

- ・ゆすいん
- ・えぐち家
- ・ゆーぷる吹上
- ・日吉老人福祉センター

入浴料金が
割引

**安全の願いを込めて
免許返納**



交通事故のない街づくり!

日置警察署交通課

同じ年代の友達のために

伊集院ソフトボール少年団寄付



チームの想いを込めて寄付金を手渡しました

一月七日、伊集院ソフトボールスポーツ少年団が、県交通被災者たすけあい協会に寄付を行いました。

「さまざまな事情でチームに入れない友達がいることを忘れないように」と結成当時の監督が提案。交通遺児のために役立ててもらおうと、三十五年間寄付を続けています。

今年、三十選手がそれぞれお年玉を持ち寄り集めた寄付金を、輝祐治主将が日置警察署で手渡しました。

地域活性化のために

伊集院経営者クラブ

一月十九日、伊集院経営者クラブクーポン委員会定例会が行われました。

伊集院経営者クラブには、伊集院で開業している若手経営者が三十九人所属。市庁舎にバリアフリーの手助けになる手すりの寄付など地域住民、地域活性化のためのさまざまな活動を展開しています。

三月に南日本新聞の折り込みでクーポンが発行されます。ぜひご利用ください。



地域発展のために活動しています

総務大臣表彰、県統計協会会長表彰を受賞

平成23年度統計功績者表彰

平成二十三年度統計功績者として、平成二十二年国勢調査員を務めた清藤藤一さん、南宏機さん、永吉恭子さんが、総務大



左から清藤さん、上さん、永吉さん、南さん

臣表彰を受けられました。面会できない世帯に何度も出向くなど、調査票の回収に努められました。

また上みゆきさんが、鹿児島県統計協会会長表彰を受けられました。上さんは、工業統計調査に六回従事されたほか、さまざまな調査に長年にわたり尽力されています。

統計調査員の地道な調査活動により正確に実施され、その結果は、国や地域の政策等に活用する貴重な資料になっています。

一人ひとりの知恵と活動で

日吉地域女性大会

日吉地域女性大会が、一月十五日、日吉老人福祉センターで開催されました。

住吉小学校児童による「すみよしエイサー」で開幕し、上園博文市企画課長が「母への熱き思い」と題して講演。参加者は楽しい講演に笑いながらも熱心に聴き入っていました。

また活動発表では、食生活改善推進員連絡協議会が、特定健診、がん検診を受けることの大切さを寸劇で発表しました。



寸劇で特定検診、がん検診の大切さを学びました

支えあう地域づくり

小野馬場なでしこ会 ボランティア活動

十二月六日、小野馬場なでしこ会が、福祉施設でのボランティア活動を行いました。

この会は、平成二十一年に小野馬場自治会の女性部で結成され、福祉施設の慰問、入居者への語りかけや手助けなどの活動を隔月行っており、二十四人の会員が無理のないよう交代で活動しています。

少子高齢化の進む地域社会の中で、お互いに支えあうことが、これからの地域づくりに繋がっていくように活動を続けていきます。

この日は、五人の会員が施設入居者の衣類への名札のつくろいなどを行いました。



ボランティア活動を通して地域づくりを



たくさんの子どもが聞き入っていました

火鉢を囲み楽しいひととき

冬に集うお話会

日新小学校家庭教育学級主催の「冬に集うお話会」が、一月二十二日、日新自治公民館で開催されました。

会場には、子どもと保護者、地域の方々など約百人が集まり、火鉢を囲みながら民話や昔話を静かにじっくりと聴きました。

大型紙芝居や大型絵本、創作紙芝居なども披露され、子どもたちはたくさんのお話を楽しみ、すっかりお話の世界に溶け込んでいました。



種は小さくて判別が難しい

転機の年、豊作を願って

葉たばこ播種式

一月十七日、日置地域の葉たばこ生産農家が、吹上地域中田尻の共同育苗ハウスで播種式を行いました。

この日は、生産者とたばこ耕作組合、JAさつま日置、農政関係者が多数参加し、豊作祈願のあと、ハウス内に並べられた親床に均一になるよう肥料に混ぜ込まれた種を丁寧にまきました。

内十五戸の葉たばこ農家のうち八戸が廃作し、耕作農家は七戸となりました。面積も約十六畝に減少しましたが、若手を中心に盛り上げようと、品質と反収の向上を目標に研究を重ねながら取り組んでいます。

昨年夏に、日本たばこ産業（JTI）が廃作を募ったことで、高齢化の進んでいた日置市

この日は、生産者とたばこ耕作組合、JAさつま日置、農政関係者が多数参加し、豊作祈願のあと、ハウス内に並べられた親床に均一になるよう肥料に混ぜ込まれた種を丁寧にまきました。



全員で永山在兼氏の墓参り

南国の地で友情を深め合う

姉妹都市中学生交流事業

一月十日から十三日までの四日間、北海道弟子屈町中学生派遣団十六人（弟子屈中七人、川湯中四人、引率五人）が、日置市を訪れ、学校訪問やホームステイなどを通して交流を深めました。

これは、旧東市来町と弟子屈町との間で姉妹町盟約の締結するきっかけとなった土木技師永山在兼氏を縁に始まった交流事業で、平成二年から隔年ごとに実施されています。

一行は、永山在兼氏の墓参りで旅の無事を祈願した後、今が旬のイチゴ狩りや薩摩焼体験等を楽しみました。

また、東市来・上市来両中学校での交流会では、一緒に給食を食べながらお互いの町の違いなどを楽しく意見交換をしていました。

今夏には、東市来地域の訪問団が、弟子屈町を訪れ、ホームステイなどの交流を予定しています。



作り方のコツを伝授

色んなキムチを味わって！

キムチ作り講座

韓国の代表的食べ物「キムチ」を作る講座が、吹上・伊集院地域で開催されました。

これは市民にもっと韓国の食文化に親しんでもらおうと、市国際交流員の李濬京交流員を講師に実施。今回は、計二十二人が本場韓国のキムチ作りに挑戦しました。

本場韓国の唐辛子をはじめとした調味料を大根に混ぜ合わせると、真っ白な大根がみるみる赤く染まり、良い香りが部屋いっぱいに広がりました。

また、スープ状のキムチ「ドランチミ」は、唐辛子を使わないため透明でさっぱりしていて、



みんな楽しみながら作りました

変わった種類のキムチに参加者は興味津々で楽しみながら調理しました。



ゴール前の激しい攻防

魅せる足技！ゴールを狙え！

Fカップフットサル大会

一月二十二日、吹上浜公園体育館で第十五回Fカップフットサル大会が開催され、県内各地から十六チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

本格的なチームから、職場の同僚で結成されたチームまで、さまざまなチーム編成ながらも、めまぐるしい攻防や激しい競り合いも多く見られ、観戦者も大いに楽しみました。

結果は次のとおり(優勝のみ)
優勝 TEMINO



無病息災をお願いしました

燃え上がる炎に無病息災を祈る

各地域鬼火焚き

新春の伝統行事で一年の災厄をはらう鬼火焚きが、一月七、八日に各地で行われました。

扇尾地区(日吉)では、高さ十数メートルのやぐらが火の粉を飛ばしながら一気に燃え上がり、竹のはじける音が周りの山々にこだましました。また、新春花火大会も行われ、冬空を彩る花火に寒さも忘れて魅了されました。

各地域とも参加者は、夜空にむけて大きく燃え上がる炎を前に、今年一年の無病息災などを祈りました。



真剣な眼差しでかるたを見つめる参加者

畳上の熱戦

吹上地域小学生「日新公いろは歌」かるた取り大会

一月二十三日、吹上砂丘荘で「日新公いろは歌」かるた取り大会が行われました。

これは、日新公顕彰会が主催し

て毎年行っており、今年で七回目。地域内の各小学校から六十四人の児童が参加しました。

三・四年の部で優勝した下園海翔くんは「一回戦が一番緊張しました。学校のかかるた取り大会では負けたけど優勝できてうれい」と喜んでいました。

結果は次のとおり(優勝のみ)
一・二年の部 下園晃洋(和田)
三・四年の部 下園海翔(和田)
五・六年の部 宿里麻衣(伊作)



早速、おいしいいちごをパクリ

今が旬！ 真っ赤ないちご

観光いちご農園開園

「いちごの日」にちなんで一月五日、東市来地域の観光いちご農園がオープンしました。

開園式では、園主の片平清美さんが「県内品種『さつまおとめ』にこだわりをもって栽培しました。たくさんの人に食べてもらいたい」とあいさつしました。ゆのもと記念病院保育室の園児たちは、パックを片手に早速いちご狩りを体験。丸々実った大粒のいちごを楽しそうに摘み取っていました。

農園は五月まで開園予定です。

大きな桜島大根が一堂に

桜島大根品評会

一月二十五日、日吉農業きばる会主催の初めての桜島大根品評会が、吉利物産店で行われました。大きく見事に育てられた桜島大根。実は同会の研修会がきっかけで栽培されました。

同会では毎年二回ほど研修会を実施。昨年七月の研修会で「日吉でも変わった作物の研修会ができるか」と提案があり、鹿児島大学名誉教授の衛藤威臣先生を講師として招き、桜島大根の栽培方法について研修会を行いました。

研修後、衛藤先生から桜島大根の種を譲り受け、その種を栽培し成長したものが、今回初めての品評会に出品された桜島大根は二十四本です。丹精込めて栽培された大きな桜島大根を見て、衛藤先生もびっくりしていました。

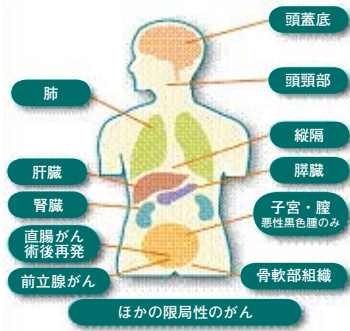
最優秀賞に輝いたのは十五・〇五詰を出品した下内久史さんでした。



大きな大根が並びました

最先端のがん治療「粒子線治療」情報

メディポリス指宿(指宿市)の「がん粒子線治療研究センター」では、平成23年4月の本格稼働より、170人を越える患者さんの粒子線治療を実施してきました。「粒子線治療」は、がん病巣にピンポイントに照射ができることから、副作用を最小限に抑えることができます。また、治療中は、熱や痛みを感じる事がないため、高齢者にも優しい治療法です。また、がん治療を行う施設とリゾート施設を融合した「医療リゾート」での治療は、患者さんそれぞれのライフスタイルに合わせて、仕事をしながら通院で治療を受ける方、ご家族とともに滞在しながら治療を受ける方などさまざまです。



粒子線治療の適応とされるがん
ただし、胃や腸など消化管のがん、複数のリンパ節転移のあるがん、血液のがんなどは、粒子線治療の適応にはなりません。

治療費について

先進医療として行われる粒子線治療の技術料は、公的医療保険の対象外であるため、全額自己負担となります。がんの種類や大きさ、照射回数に関係なく、288万3千円がかかります。最近では、民間の医療保険でがんの粒子線治療をカバーできる商品も増えてきています。

「粒子線治療費利子補給事業」が開始されました！（鹿児島県）

鹿児島県では、平成23年4月から県民が粒子線治療を受けやすい環境を整備するため、当センターで治療を受ける患者さん、またはそのご家族等が、治療費を金融機関から借り受けた場合に、利子の一部を助成する制度が開始されました。

・利子補給の対象者

「がん粒子線治療研究センター」で粒子線治療を受け、治療費の支払いのために金融機関から借入を行った患者本人または、その家族等（親族、同一世帯に属する方）。

ただし、患者本人は、治療開始時点において、県内に1年以上在住している方であり、世帯全員の課税総所得金額が600万円以下の世帯に属する方。

・借入限度額および利子補給の割合等

①対象借入金

金融機関からの借入金のうち粒子線治療相当額（限度額：288万3千円）

②利子補給率

(1) 年利率（6%以内）の100%・・・住民税非課税世帯に属する方

(2) 年利率（6%以内）の50%・・・世帯全員の課税総所得金額が600万円以下の世帯に属する方

③利子補給期間

5年（60月）を限度

※申請に必要な資料等は、県ホームページからのダウンロードおよび各地域振興局保健福祉環境部保健企画課で入手できます。

詳しくはお問い合わせください



財団法人メディポリス医学研究財団
がん粒子線治療研究センター
鹿児島県指宿市東方5188番地
TEL:0993-23-5188
患者さん相談窓口 TEL:0993-24-3456
<http://www.medipolis-ptrc.org/>

市民サービス

向上を目指して

組織配置の見直し

これまで市民福祉部介護保険課は、本庁舎のスペースの問題から妙円寺団地内の旧広域連合事務所で業務を行っていました。今回、鹿児島県旧伊集院合庁にある空きスペースを借用できることになり、関係する組織配置の見直しを行いました。

これにより、これまで以上に介護保険や健康保険、福祉分野の連携が強化され、市民サービスの向上が期待されます。

そのほか組織配置見直しの詳細については、左表を参照ください。

<table border="1"> <tr><td>市役所本庁舎</td><td></td></tr> <tr><td>産業建設部</td><td></td></tr> <tr><td>農林水産課</td><td>1階</td></tr> <tr><td>建設課</td><td>2階</td></tr> <tr><td>農業委員会</td><td>1階</td></tr> </table>	市役所本庁舎		産業建設部		農林水産課	1階	建設課	2階	農業委員会	1階	→	<table border="1"> <tr><td>旧伊集院合庁2階</td><td></td></tr> <tr><td>産業建設部</td><td></td></tr> <tr><td>農林水産課</td><td></td></tr> <tr><td>建設課</td><td></td></tr> <tr><td>農業委員会</td><td></td></tr> </table>	旧伊集院合庁2階		産業建設部		農林水産課		建設課		農業委員会	
市役所本庁舎																						
産業建設部																						
農林水産課	1階																					
建設課	2階																					
農業委員会	1階																					
旧伊集院合庁2階																						
産業建設部																						
農林水産課																						
建設課																						
農業委員会																						
<table border="1"> <tr><td>市役所本庁舎</td><td></td></tr> <tr><td>市民福祉部</td><td></td></tr> <tr><td>介護保険課</td><td>2階</td></tr> <tr><td>健康増進係</td><td>1階</td></tr> </table>	市役所本庁舎		市民福祉部		介護保険課	2階	健康増進係	1階	←	<table border="1"> <tr><td>市役所妙円寺事務所</td><td></td></tr> <tr><td>市民福祉部</td><td></td></tr> <tr><td>介護保険課</td><td></td></tr> </table>	市役所妙円寺事務所		市民福祉部		介護保険課							
市役所本庁舎																						
市民福祉部																						
介護保険課	2階																					
健康増進係	1階																					
市役所妙円寺事務所																						
市民福祉部																						
介護保険課																						
	←	<table border="1"> <tr><td>市役所健康増進施設</td><td></td></tr> <tr><td>健康保険課</td><td></td></tr> <tr><td>健康増進係</td><td></td></tr> </table>	市役所健康増進施設		健康保険課		健康増進係															
市役所健康増進施設																						
健康保険課																						
健康増進係																						

※伊集院合庁に移転する産業建設部等の新しい電話番号や業務内容等は、三月下旬発行の「広報ひおきお知らせ版」や市ホームページでお知らせします。

知り合いへの

ふるさとの便りに

「広報ひおき」年間購読者募集

市では、皆さんへの行政情報や市内各地域でのイベント・行事などのお知らせとして、「広報ひおき」を発行し、各世帯へ配布しています。

市外在住の郷土出身者などで、「広報ひおき」年間購読をご希望の方には、有料による発送も行っています。お知り合いの方へのふるさとの便りとしてご利用してはいかがでしょうか。

「広報ひおき」年間購読をご希望の場合は、企画課広報統計係または各支所地域振興課自治振興係までお申し込みください。



ふるさとも感じてみませんか

【年間購読料】二千元

平成二十四年度分は、平成二十四年四月号から平成二十五年三月号までになります。

うたよみ

日置市文化協会

短歌・俳句・さつま狂句

(氏名敬称略)

短歌

日吉短歌会

美しく老いゆく事は夢にして
足腰弱り身もちぢまりぬ

西 ヒロ子

友達の「裏にいるよ」と返事あり
地球の裏とは驚く電話

鳩野とみ子

裏庭に黒猫じつと登りいる
声をかけるもそ知らぬ顔で

東 トキ

伊集院短歌講座

夢の続きみたく眼を閉じたれど
逢わず仕舞に夜の明け初むる

今田 純江

忘年会続く日多く中年に
なりし息子の体気になる

玉利 順子

しきなみ短歌会(東市来)

寒月は澄みたる空に冴えており
凍て付く村を沈めるごとし

草原 桐子

紅葉の落ち葉も孫の手によれば
おままごのお皿になりぬ

野崎加代子

とき姑の姿を想う赤とんぼ
墓参の帰路をスイと飛び交う

元吉まき子

俳句

日吉町俳句会

冬ぬくし縁先に座し大豆選る

米丸 節子

ひと打ちの鍬先句ふ春の土

松村スミ子

集まりて父母偲ぶ声入彼岸

横山 映子

吹上砂丘俳句会

噴煙の稜線に伝ふ初御空

池上 悠子

玲瓏と寒月空にありにけり

今村 迪子

遠嶺の紺日照雨に生れし冬の虹

兄玉 智子

奴草俳句会(東市来)

初日影国旗はためく老の里

瀬川 ナル

書初めとなりし賀状の返しかな

濱田 彰典

妻ゆきて孫と夕餉の除夜の鉦

大庭 正道

さつま狂句

コケケ狂句会(東市来)

用心せち子供み言わるつ年齡けなつ

永井雑魚綱(永井利昌)

管巻掘い飽つが来た嬢すうず寝つ

田淵しつがつ(田淵豊二)

孫娘可愛ぞか容姿しよして宮詣行つ

樋口甘柿(樋口幸造)

ゆすいん・どんこ会

ドル安が地球を回つ難儀ん企業

今村 左武(こねこ)

回し蹴い狂つ担架ん世話になつ

福永 浩邦(走風)

未だ二歳煩ろしぐらい回い舌

久保 正行(福米)

吹上さざなみ会

上棟祝ん餅拾れ大人も子供も大騒動

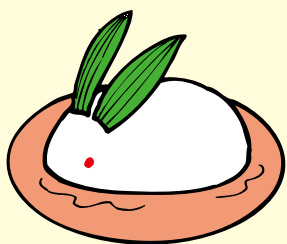
池畑 鉄亀(哲也)

棟上げじゃ餅つ投ぐつ言て婆が上がり

平田 素麵(光春)

短軀が粘い餅をば立つ引張つ

山川 マス子



こころの健康づくり講演会

みんなでひろげよう!「元気な市民づくり運動」
～自殺について身近な問題としてとらえること、それが自殺対策の第一歩です～

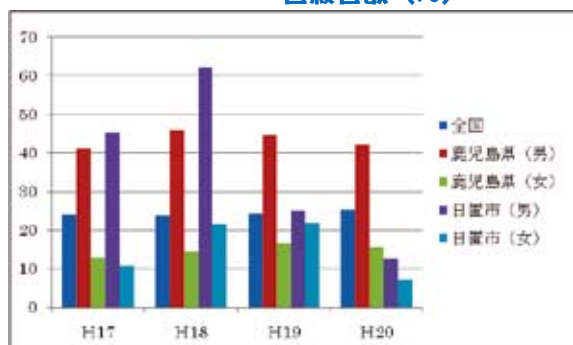


元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

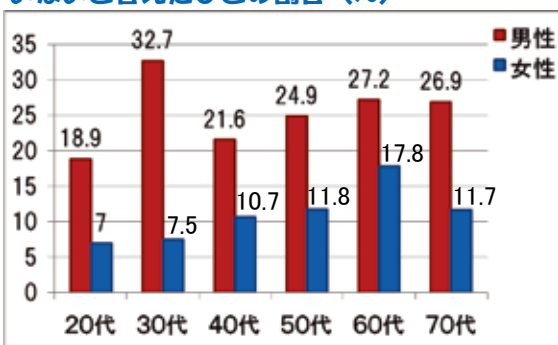
12月20日(火)、市中央公民館で、こころの健康づくり講演会を開催し、約130の方が参加しました。NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表の山口和弘氏を講師に迎え「自殺の現状と理解～私たちができること」と題しての講演と地域における自殺対策の取り組みとして、日吉地域の西郷サロンと市の取り組みの紹介などシンポジウムを行いました。日置市の自殺死亡率は、男性が女性より圧倒的に高く、働き盛りの40～50代と高齢者が高い状況です。自殺を身近な問題としてとらえ、一人一人が、かけがえのない命について向き合い、地域が一体となって自殺対策に取り組むことが大切です!

●日置市の現状

自殺率(H17～H20)…人口10万人当たりの自殺者数(%)



悩みや困ったことを相談できる相手が身近にいないと答えたひとの割合(%)



自殺死亡率は一時減少傾向にありましたが、最近増加している傾向がみられます。

日置市健康実態調査では、「市民の6割がストレスを感じている」「男性の3人に1人は相談相手がない」など独りで悩みを抱え込んでいる状況があるようです。

●山口和弘氏の講演より

「(交通事故に)気をつけてね」家族を送り出すとき意識せずとも自然に出ている言葉ですが、そのくらい交通事故については、一人一人が身近な問題としてとらえています。自殺の問題については「自分に限っては関係ない」「自分の家族にはありえない」など交通事故死の6倍の尊い命が失われているにもかかわらず、自殺の問題について目をそむけている状況があります。このことは、自殺のサインを見逃してしまったり、相談できない環境にし、独りで抱え込んでしまう結果になります。まずは市民一人一人が自殺の現状を理解し、身近な問題としてとらえることが大切です。また、自殺を大人の問題だけにせず、子どものころから自殺(こころ)の問題について向き合い、高校生までに「相談の仕方を学ぶ」ことなど社会の仕組みとして取り組んでいくことが求められています。



<悩みを打ち明けられたら・・・>

- ・相談を受けるときはアルコールのない席で(アルコールは衝動性を高めたり、質の悪い睡眠をもたらす:浅い眠りなど)
- ・酒量が増える、自殺をほのめかす(消えてしまいたいなど)、自殺未遂(大量服薬、リストカットなど)等自殺のサインは注意必要
- ・自殺したいと相談されたら・・・話をそらさない、しかし独りで抱えず、専門機関などに「つなげる」ことが大切

●地域でできる「自殺対策」～日ごろからつながりを作っておく～

日吉地域の西郷サロンは、男性参加者が約3分の1と他地域と比較すると多い状況です。雰囲気作り、内容の工夫など孤立しやすい男性高齢者も参加しやすいよう趣向を凝らしています。日ごろから地域でのつながりを作っておくこと(声かけ・集う場)が大切です。



男性の参加が多い西郷サロンの様子

●身近な相談窓口

日置市役所 TEL 099-273-2111 精神障害者相談支援事業所(向陽ホーム内) TEL 099-273-3767



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

おめでとう

一月受付分 (敬称略)

伊集院地域

川之上 遼音	中原 花音	徳永 晴琉	徳永 乃花	宇都 大夢	矢野 良	堀内 弥芽	池亀 祥生	中山 貴仁	益山 光希	岩川 健生	中菌 蒼	岩下 翔	政彦	上神殿
健一	幸喜	一志登	道夫	寛高	康弘	忠司	敬泰	照貴	健太	友和	一美	政彦	上神殿	徳重東
郡下	猪鹿倉	中央通	飯牟礼上	妙円寺九区	銀天通	朝日ヶ丘	朝日ヶ丘	平古	猪鹿倉	清藤	徳重東	上神殿	上神殿	徳重東

東市来地域

重水 俊哉	啓徳	田之湯
啓徳	田之湯	

吹上地域

本山 茜里	隆太	赤仁田
酒匂 維織	和也	東宮内
上原 美月	知之	窪田

おくりやみ

一月受付分 (敬称略)

伊集院地域

橋口 義光	新 ニワ	吉村 久子	水口 昭信	田淵 正信	久保 正人	今村 タマエ	石田 俊治	門松 文子	町田 正和	大内山 イチ子
81	87	90	64	89	76	87	83	95	76	83
麓東	麦生田	麦生田	桑畑	野田	上神殿	善福	妙円寺二区	中央通	上土橋	瀬戸内

東市来地域

下笠 夏子	四郎園 巖	橋口 サチ子	中原 尚徳	迫田 サエ
88	78	74	83	87
飯牟礼下	上方限	朝日ヶ丘	妙円寺二区	妙円寺八区

(故人)

(享年) (自治会)

松尾 エミ子	徳重 年吉	濱田 増	米丸 節江	西園 端志	鹿丸 フヂエ	室之園 フヂノ	鮫島 達雄	迫 泰彦	永井 實	米澤 時道	久保 正春	東峯 清一	鮫島 重治	山崎 喜代子	中間 忍
83	83	77	77	88	102	83	82	65	85	79	85	82	92	84	79
駅前	梅木	中央	元伊作田	堀内	駅前	下養母	田代	坂之上下	大平	北山	荻	下養母	田代	梅木	柿之迫

吹上地域

古川 フヂエ	湯山 善藏	奥 里美	宮下 ハルエ	上床 フヂ	鶉狩 國雄	岩井 田タツ
85	86	74	86	84	92	84
日新	二湯	二湯	草見	毘沙門	柿の谷	扇尾

※訂正とおわび
 広報ひおき1月号の記事中に誤りがありました。
 次のとおり訂正しておわびします。
 P18まちの話題
 第五回日置地区防犯少年剣道錬成大会
 十一月二十九日
 十一月十九日



ギャラリー 私の作品展

『水彩画』

たぶち いわお
田淵 岩夫さん(84歳) 東市来町長里

子どものころから絵を描くことが好きで、定年退職してから平成8年に東市来町の生涯学習講座を受け、それから15年間続けています。今は自主講座として月に1回福宿先生に教えていただきながら、みんなで集まり、仲間に囲まれながら絵を描いています。



場面を切り取る写真とは違い、絵には実物より良く描くこともできるという魅力があり、そこが腕の見せどころであり難しい部分でもあります。また、描く物の遠近を色のぼかし具合で表現でき、そのぼかし具合を考えながら描くのは本当に楽しいです。

これからも自主講座などを通して、水彩画ならではの楽しみを感じながら続けていきたいと思えます。



ウォッチまの文化財 78

いざくごう かりや 伊作郷お仮屋と島津斉彬 (吹上地域)

吹上地域の坂元自治会にある中央公園には、江戸時代に、伊作郷(吹上地域南部)のお仮屋がありました。お仮屋は現在の役所にあたる施設ですが、身分の高い人の宿泊所も兼ねていました。

お仮屋で行政の仕事をしていたのは地元の武士(郷士)達で、トップは地頭という役職でした。地頭は藩主の名代として権力を持っており、200年余りの間、32代にわたり年寄(としより)と横目など多くの役職を従えて伊作郷を治めていました。

歴代の藩主もときどき巡回し、立ち寄っています。幕末の名君として知られる島津斉彬(1809~1858)が伊作郷お仮屋に宿泊したとも言われています。斉彬は嘉永4年(1851)に南薩一帯を巡回しています。その際に伊作で宿泊しています。伊作郷お仮屋の図面が残っていますが、それを見ると、厩や居間が普段使うものとは別に作ってあります。それらは、身分の高い人の専用であったことが分かります。斉彬もそうした部屋に泊まったかもしれません。

Access



伊作郷お仮屋跡



すてきな看護師を目指して

永吉小学校 六年 坊野 真優さん

私の将来の夢は、看護師になることです。

私は小さいころ、体が弱くてよく入院をしていました。その時の看護師さんが一生けん命働いている姿が、今になりにかっこいいと思います。

点てきをする時注射をするので、私はとてもいやでした。でも、看護師さんが、「すぐ済むよ。はい終わった」と優しく声をかけて安心させてくれました。私は、そんな

優しい看護師さんになりたいです。

そのために、私は看護学校へ行ってたくさんのお話を学びたいです。大きらいな注射も克服して、患者の方々に安心させてあげたいです。

看護師になれたら、小児科で子ども達の笑顔をたくさん見たいです。今のうちに、勉強を一生けん命がんばって、すてきな看護師を目指したいと思います。



鹿児島県日置市

市の人口 (住民基本台帳)

総人口	51,244人(▲57)
男	24,016人(▲24)
女	27,228人(▲33)
世帯数	22,534 (▲26)

2月1日現在 () は前月比

東市来地域	12,378人
伊集院地域	24,670人
日吉地域	5,396人
吹上地域	8,800人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「空高く防災を祈る」

素晴らしい青空のもと1月8日、日置市消防出初式が行われました。例年にない街頭パレードから始まり、吹上方面団による放水演習があり、その迫りに観客も大喜びでした。

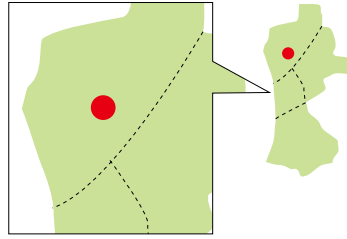
市税の納付は、便利で確実な口座振替を利用しましょう！
あなたの預貯金口座のある金融機関へお申し込みください。

No.82 平成24年2月号 2012. 2. 24発行

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899-2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所
TEL 099 (274) 2111
日吉支所
TEL 099 (292) 2111
吹上支所
TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/

わが地域



下養母自治会
(東市来地域)

下養母自治会は、東市来地域の中心部に位置しています。平成二十四年二月一日現在で百五十五世帯、三百五十一人が暮らしています。

自治会の基盤が非常にしっかりとして、その基盤を生かした他の自治会には無い先進的な活動を行っています。新しいさまざまな取り組みを積極的に取り入れています。



野元正利会長

下養母自治会 (東市来地域)

「みんな現役とともに活動」できる自治会を

鶴丸小学校区の一つである下養母自治会。今まで築いてきた自治会基盤をもとに、さまざまな新しい活動を積極的に取り入れています。

これまで自治会の合併、活動組織の見直し、活動内容等の再検討を重ね、高齢化に見合う取り組みをしてきました。

中でも「冠婚葬祭に関する申し合わせ事項」を住民の要望のもとに、当事者も出席者もかかわりやすい方式・内容に改めました。

自治会発展のためには、役員だけでなく会員自身の努力も必要です。年に一回「研修視察」を実施しています。昨年は営農



たくさん参加いただきました

組合関係の視察に八十一人が参加。参加者がそれぞれ自治会発展の意欲を持たれたことや、参加者同士の親睦が図ることができました。毎年の実施を希望する声もたくさんいただきました。

ほかにも自主的な活動として、「市道、農道の伐採作業」を実施しています。自治会事業の作業では、危険で手が回らない場所が年々残っています。そこを専門的技術を持つ会員を中心に作業しています。行政に頼り切りの集落の道路管理に新た



憩いの場じいば花園

な解決策を見出したところです。

「じいば花園」は住民発案で作られた花園です。地域をもっときれいに、たまには顔でも合わせ語り、そしてみんなでお茶でも飲みましようという「花より談話」の取り組みです。

今後の目標は、高齢の方々に対し、高齢者という言葉捨てて、地域の先輩としての見方や接し方に切り替えていくことです。

大先輩には長年培った技術や経験それに知恵が貯えられています。それらを自治会活動に生かしてもらうためです。

「みんな現役、みんなで活動」を新たな目標に加えて、自治会運営をすすめていきたいです。

編集たいむ



「あなたが地域のためにできることは何ですか。」と質問されたら皆様どんなことを思い浮かべますか。すぐに答えることができる方や考え込む方。いろいろだと思えます。この問いにぶつかった時、自分は残念ながら後者でした▼「何か自分の任んでいる地域の役に立ちたかったんです。考えて辿り着いた先が消防団でした。体力だけは自信があったので笑」。これは出初式の取材中にたまたま隣にいた消防団員の方に「どうして消防団に入ったんですか」と聞いた時の答えです。この答えを聞いた時「じゃあ自分は地域のために何ができるんだろう」と自問してしまい、前半部分につながるわけです▼家に帰り、妻に聞くと「うーん。私はこの子を日置市の一員としてしっかりと育てることかな。なるほどそのような貢献の仕方もある。地域貢献というところが難しく考えてしまいますが、結構身近にあるのかもしれない。あなたが地域のためにできることは何ですか」(真)